



マネージャとアシスタントの挿入

Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) を使用すると、Cisco Unified Communications Manager の Cisco Unified Communications Manager Assistant 機能を管理できます。BAT では、マネージャやアシスタントの IP Phone を追加できます。

Cisco Unified CM Assistant 機能は、いくつかの Cisco Unified IP Phone モデルとデバイス プロファイルに対して利用できます。Cisco Unified CM Assistant には、マネージャとアシスタントの回線で Cisco Unified CM Assistant 機能を利用するための設定モードとして、次の 2 つが用意されています。

- プロキシ モード：マネージャのプライマリ回線は、アシスタントの電話機とは異なる電話番号を持つプロキシ回線と関連付けられます。詳細については、「[プロキシ回線モードでの Cisco Unified Communications Manager Assistant 用の電話機の設定](#)」(P.29-2) を参照してください。
- シェアドライン モード：マネージャとアシスタントの電話機がシェアドラインを持ち、同じ電話番号とパーティションを使用します。詳細については、「[シェアドライン モードでの Cisco Unified Communications Manager Assistant 用の電話機の設定](#)」(P.29-8) を参照してください。

BAT を使用して、マネージャとアシスタントの電話機に、プロキシ回線またはシェアドラインを設定することができます。

Cisco Unified Communications Manager へのマネージャとアシスタントのアソシエーションの挿入

マネージャとアシスタントの新しいアソシエーションを挿入したり、既存のアソシエーションを更新したりするには、CSV データ ファイルが必要です。詳細については、「[マネージャとアシスタントのアソシエーション用の CSV データ ファイルの作成](#)」(P.29-10) を参照してください。

BAT がマネージャとアシスタントのアソシエーションを更新するときは、インターコムの電話番号や関連付けられているデバイスについて、既存の Cisco Unified CM Assistant 回線設定は変更されません。



注意

Cisco Unified CM Assistant の最小構成をサポートするために必要な数の回線をアシスタントの電話機が持っていない場合、マネージャとアシスタントのアソシエーション作成は失敗します。

始める前に

次の 2 つの手順のいずれかを使用して、マネージャとアシスタント用の電話機が設定されていることを確認してください。

- 「[プロキシ回線モードでの Cisco Unified Communications Manager Assistant 用の電話機の設定](#)」(P.29-2)

- 「シェアドライン モードでの Cisco Unified Communications Manager Assistant 用の電話機の設定」(P.29-8)

Cisco Unified Communications Manager データベースにマネージャとアシスタントの新しいアソシエーションを追加または更新する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [マネージャ/アシスタント (Managers/Assistants)] > [マネージャ/アシスタントの挿入 (Insert Managers/Assistants)] の順に選択します。[マネージャ/アシスタントの挿入 (Insert Managers/Assistants Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] フィールドで、このバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。
- ステップ 3** マネージャがエクステンション モビリティを使用してログインする場合は、[マネージャがエクステンションモビリティを使用するように設定 (Configure Managers as mobile managers)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 4** すべての電話機にシェアドラインがある場合は、[シェアドラインの使用 (Uses Shared Lines)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** [オプションの挿入 (Insert Options)] 領域で、作成した CSV データ ファイルのタイプを次のうちから選択します。
- [デフォルト (Default)] : 標準の CSV データ ファイルを作成した場合は、CSV ファイルのデータに基づいて、このトランザクションのアソシエーションのタイプを選択します。
 - [1 人のマネージャに 1 人以上のアシスタントを割り当て (Associate one or more assistants to one manager)]
 - [1 人のアシスタントに 1 人以上のマネージャを割り当て (Associate one or more managers to one assistant)]
 - [カスタム (Custom)] : プロキシモードのためのカスタム CSV データ ファイルを作成した場合に選択します。
- ステップ 6** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 7** マネージャ/アシスタントを即座に挿入するには、[今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックします。マネージャ/アシスタントを後で挿入するには、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。
- ステップ 8** [送信 (Submit)] をクリックして、マネージャとアシスタントのレコードを挿入するジョブを作成します。
- ステップ 9** このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。
- ジョブの詳細については、[第 82 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。



(注) ログファイルの詳細については、「[BAT ログファイル](#)」(P.83-3) を参照してください。アシスタントまたはマネージャの設定の更新を BAT で実行しているとき、利用可能回線数の不足が原因で変更が一部しか完了しなかった場合は、トランザクションレコード全体が失敗します。

- ステップ 10** 変更内容を有効にするには、Cisco Unified CM Assistant サービスを再起動する必要があります。
-

追加情報

「[関連項目](#)」(P.30-3) を参照してください。

関連項目

- 「プロキシ回線モードでの Cisco Unified Communications Manager Assistant 用の電話機の設定」 (P.29-2)
- 「シェアドライン モードでの Cisco Unified Communications Manager Assistant 用の電話機の設定」 (P.29-8)
- マネージャとアシスタントのアソシエーション用の CSV データ ファイルの作成
- 「ジョブのスケジュール」 (P.82-1)
- 「BAT ログ ファイル」 (P.83-3)

